

Hospitality

地域のホスピタリティを訪ねて

この石見を「音楽文化の薫る街」 にするための挑戦

一般社団法人石見音楽文化振興会

代表理事 田中 健一

石見を「音楽文化の薫る街」にしたい思いで、この石見では音楽関連4団体にて指揮や指導をしています。約130名のメンバーと音楽漬け!の毎日を送りながら、各団体がより充実した活動ができるプラットフォームにと一般社団法人石見音楽文化振興会(会長 須山隆)を多くの方々の協力を得て創設し、音楽を使って様々な社会課題の解決に挑戦しています。

一般社団法人 石見音楽文化振興会とは?

「いわみ三ツ星コンサート」の運営を中心に地域の音楽団体の支援や音楽イベントのプロデュースなど多岐に渡る活動を行っています。この音楽文化振興の活動を通して、音楽文化の熱量が増している石見地域に住んでいることへの誇りを感じてもらい、いわゆるシビックプライドの向上を目指しての発足でした。活動にあたっては、誰もが音楽を鑑賞しやすい環境づくり、また石見の文化芸術を支える人材の確保、育成を進めています。さらにはそのような人材を活用し、コミュニティセンターなどで高齢者を対象にしたミニコンサートを行い、介護予防の一助として市民に理解を得ながら多くの高齢者が利用できる環境を作ることに注力しています。特に楽器奏者に関しては全国から募ることにより、音楽就職が困難な若者へのUIターンが見込まれ、結果的に定住化対策にもつながると考えます。

具体的な取り組みとしては…

- いわみ三ツ星コンサート(年3回)の企画・運営
- 音大生のUIターン支援
- GOTSUジュニアシンフォニックオーケストラ(小学生)の運営
- 若手演奏家の育成 ● 音楽イベントのプロデュース
- ウラジオストク(ロシア)との音楽交流
- ソラシドジャズオーケストラ、江津市民混声合唱団、石見シンフォニックオーケストラなど地域の音楽団体への協力

以下、活動の一部です。

いわみ三ツ星コンサート

国内外で音楽活動を行っているプロの個人や団体を招待し、市民が気楽に本物の芸術音楽に触れることができる環境づくりを推進するために年3回、計10回実施しました。コンサートのチケット収入の一部を地域で活動している子どもたちの音楽団体へ楽器等の購入費として寄付し、音楽文化



の更なる向上を図っています。また地域の音楽愛好家や音楽大学に在学している学生に対して、発表・発信の場をつくり、石見の魅力を知ってもらいたいとも考えています。



GOTSUジュニアシンフォニックオーケストラ

石見地域でも江津市は児童たちが音楽芸術に触れる機会が少なく、特に楽器を演奏できる活動は皆無で、他地域にはある小学生の金管バンドすら現在はありません。そんな環境を少しでも整えるため楽器演奏を活動の軸に置いた取り組みです。市内の全ての小学校はもとより、近隣の浜田市や大田市からも入団者があり、合奏中心に練習を行っています。音楽を通して、子どもたち自身が音楽を楽しみながら、生活の基本である挨拶や返事、そして協調性やリーダーシップなどを培わせることを目標にしています。



音楽UIターンプロジェクト

音楽を通して「働き方改革」と「まちづくり」を目標に掲げ、多くのUIターンプロジェクトを推進しています。社会課題の一つである企業においての人手不足解消と、この地域の人口減少問題を解決するべく、県外からのUIターン者の受け入れを毎年実施しています。地域の労働力不足を解消するための手段として、その移住希望者に市内企業を紹介し、両者の意向がマッチングすれば石見で就職し、定住するという流れを作っており、受け皿の協力を各企業にお願いしています。